

- 直轄河川改修着手から80年の節目を迎え、黒部川で繰り返されてきた災害を振り返るとともに、今、何ができるかを、防災関係者や教育関係者、黒部川沿いの住民のみなさんとともに考えるシンポジウムを開催しました。
- 約500名の参加者のもと、「黒部川の洪水災害を振り返る」上映にはじまり、手計太一富山県立大学准教授による基調講演、地域の小学校2校による防災教育「学び」レポート発表、パネルディスカッションなどを行いました。

## 開催概要

- 日時 | 平成29年11月26日(日) 13:00~16:30
  - 会場 | 黒部市国際文化センターコラーレ (黒部市三日市20)
  - 主催 | 黒部川等大規模氾濫に関する減災対策協議会
  - 参加者数 | 約500名
  - 開催内容 |
    - ・上映 「黒部川の洪水災害を振り返る」
    - ・基調講演 「いまそこにある災害意識の危機」  
(富山県立大学工学部 手計太一准教授)
    - ・防災教育「学び」レポート  
(黒部市立宇奈月小学校5年生、入善町立飯野小学校5年生)
    - ・パネルディスカッション  
「災害を振り返り、今、何ができるか」  
大西 宏治 富山大学人文学部准教授  
大割 範孝 北日本新聞社論説委員  
籠浦 智彦 黒部市教育委員会学校教育課 学校教育班長  
笹島 春人 入善町長  
鈴木 洋之 石川工業高等専門学校環境都市工学科准教授  
古本 一司 国土交通省北陸地方整備局黒部河川事務所長  
堀内 康男 黒部市長 (五十音順)
- コーディネーター  
手計 太一 富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科准教授
- ・パネル展示 (黒部川の洪水災害を振り返る)



黒部市立宇奈月小学校5年生 (9名)の発表  
“宇奈月ツズから提案！  
洪水に備える1・2・3！”

「学び」のほか、クラスの家族へアンケートした結果等から、状況判断が大切、各家庭で備えが必要などをプレゼンテーション



入善町立飯野小学校5年生 (21名)の発表 “寸劇”

「学び」のほか、黒部川のめぐみを大切にしながら自分たちができること、備えることや避難について家族で話し合うことの大切さ等を“寸劇”で表現



専門家、教育関係者、行政等8名によるパネルディスカッション

黒部川の地形特性や災害の歴史、ハード対策の現状から、地域の災害リスクを知るなど大人も含めた防災教育の必要性をはじめ、行政として取り組むべきことなどディスカッション

## 参加した方からの感想 (アンケート結果より抜粋)



富山県は安全な県だと思っておりましたが、考えさせられる事がたくさんありました。日頃から必ずある事と…考えを新たにしました。



黒部市長による開会挨拶



基調講演 (富山県立大学 手計太一 准教授)



「黒部川の洪水を振り返る」パネル展示に見入る参加者